

# 令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：教職員課  
 担当名：県立学校総務事務担当  
 内線：6825

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
p9	県立学校総務事務システム推進事業費(次期)			一般会計	教育費	教育総務費	教職員人事費	県立学校総務事務システム推進費	
事業期間	令和5年度～ 令和6年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		針路	05	未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4
					分野施策	0504	質の高い学校教育の推進	SDGsターゲット	4-1
1 事業概要	総務事務システムは稼働から10年以上が経過し、データベース管理システムの変更、セキュリティの強化、ブラウザ対応などに課題を持っている。最新技術の活用やさらなるペーパーレス化など、DX推進を踏まえた抜本的な機能見直しを行う。  総務事務システム再構築に伴う設計・開発委託費 △19,000千円			5 事業説明 (1) 事業内容 総務事務システム再構築に伴う設計・開発 448,933千円  (2) 事業計画 ア 知事部局総務事務システムとの統合 イ データベースのクラウド(SPCC)移行 ウ DX推進による庁内事務の効率化  (3) 事業効果 ペーパーレス化やUI/UXの改善によるシステム操作時間の削減  ア 異動処理・認定手当に係るシステム操作時間の削減 イ 事後確認・年末調整に係るシステム操作時間の削減 ウ 休暇処理・実績給等に係るシステム操作時間の削減  【活動指標(アプトプット)】 システムの保守費用や改修費用の最適化、環境変化や制度変更に対応可能なシステムの構築 【成果指標(アウトカム)】 総務・庶務事務にかかる作業負担やストレスを軽減し、本来業務へ注力する時間を創出 異動処理・認定手当に係るシステム操作時間の年間のべ1,100時間程度の削減 事後確認・年末調整に係るシステム操作時間の年間のべ3,300時間程度の削減 休暇処理・実績給等に係るシステム操作時間の年間のべ7,500時間程度の削減					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.2=11,400千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△19,000							△19,000	448,933
現計額	467,933							467,933	

## 事業内訳書

事業名	県立学校総務事務システム推進事業費(次期)		
単位事業名	総務事務システム再構築に伴う設計・開発委託費	予算額	△ 19,000千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△19,000	—	
合計	△19,000	—	

### ○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△19,000	—	総務事務システム再構築に伴う委託料が見込みを下回ったことによる減
合計	△19,000	—	